

公安委員会 説明資料No. 1	「地域安全かがわ創造プログラム(案)」について	令和3年9月9日 警 務 部
--------------------	-------------------------	-------------------

**議題事項**

**地域住民と警察の連携強化や警察機能の強化を目的とした「地域安全かがわ創造プログラム(案)」を策定する。**

**1 目的**

人口・世帯数などの社会情勢や事件・事故等の治安情勢が変化している上、人身安全関連事案、交通死亡事故、大規模災害等、県民の生命を脅かす事案にも的確に対応するため、初動体制・夜間体制・機動力の強化や地域にとって最適な交番・駐在所、パトカーや警察官の配置運用を見直すなど警察機能の強化を図るとともに、地域住民との連携を強化する。

**2 警察を取り巻く現状と課題**

- (1) 厳しい夜間の治安情勢  
県民の生命を脅かす凶悪犯・侵入盗の夜間における高い発生割合、夜間の交通事故における高い致死率等
- (2) 交番・駐在所の違い  
警察官の体制、パトカー配備状況の違い
- (3) 社会情勢の変化等への対応  
社会情勢の変化等による業務負担の格差、駐在所等襲撃事件への対応

**3 県民の意識調査**

パトロールや交通取締りなど県民が県警察に対して求めている警察活動

**4 地域安全かがわ創造プログラムの概要**

- (1) 交番・駐在所等の再編  
駐在所の統合による交番化、駐在所の複数勤務化、所管区の見直し等
- (2) 警察官連絡所  
統廃合の対象となった駐在所を「警察官連絡所」として活用
- (3) 移動交番車の効果的運用  
プログラムの進捗状況に合わせ、運用の拡充を検討
- (4) 地域安全ネットワーク  
地域住民との連携を強化し、地域における防犯力を一緒に高めていく仕組み
- (5) その他  
防犯機器の普及促進など地域の安全安心に資する取組の検討

**5 公表予定**

令和3年9月県議会総務委員会冒頭で公表予定

**6 今後の予定**

10月初旬からパブリックコメントを実施し、広く県民の意見を募集しながら、具体的な内容についても検討していく。

公安委員会 説明資料 No. 2	警察施設における新たな電力供給契約の締結 について	令和3年9月9日 警 務 部
---------------------	------------------------------	-------------------

**報告事項**

**歳出抑制の取組として、警察施設における新たな電力供給契約の締結に係る推進状況を報告する。**

**1 目的**

財政状況が厳しい中、歳出抑制の取組みとして、競争入札による警察施設の電力供給契約を拡充するもの

**2 契約期間**

令和4年2月1日～令和5年3月31日

**3 契約対象施設**

- (1) 高圧施設 17 施設  
県下 11 警察署（坂出署を除く。）、本部出先庁舎 4 施設、交番 2 施設
- (2) 低圧施設 38 施設  
本部出先庁舎 2 施設、交番 36 施設

**4 入札手続き等**

- (1) 入札方法  
一般競争入札
- (2) 入札スケジュール  
高圧施設 令和3年8月24日（火）公告、同年10月7日（木）開札  
低圧施設 令和3年8月24日（火）公告、同年10月1日（金）開札

**5 他の県有警察施設における電力供給契約に係る入札実施状況**

施設名	入札実施状況
警察本部庁舎	平成29年度から県財産経営課において、県庁本庁舎と合わせて入札実施
運転免許センター、第一分庁舎	令和3年度から入札を実施 (今後、上記契約に吸収)

**6 電力供給に係る入札により期待される効果**

小売電気事業者間の競争及びスケールメリットが働くことにより、経費節減効果が期待できる。

なお、令和5年度契約以降の電力入札に関しては、今回の入札結果を参考に仕様の見直しや駐在所等への導入等を検討し、より一層の経費節減に努めたい。

**報告事項**

**SNS利用による子供の性被害を防ぐため、7月から広報啓発活動の体制を強化して推進している『香川県警察「SCS活動」』の実施状況について報告する。**

**1 SNSに起因する子供の性被害防止のための広報啓発活動**

(1) 施策開始

令和2年4月、児童の性被害に繋がるおそれのある不適切な書き込みに注意喚起のメッセージを投稿して被害を未然に防ぐ広報啓発活動を開始

(2) 体制強化

令和3年6月からの試行期間を経て、夏休み期の7月から『香川県警察「SCS活動」』として、同広報啓発活動の体制を強化

※ SCSとは、「子供の性被害防止」の「S=Stop（防止）、C=Child(子供)、S=Sexual damage(性被害)」の頭文字

※ 児童とは、児童福祉法で満18歳に満たない者



〔不適切な書き込みに対する注意喚起のメッセージ〕

**2 『香川県警察「SCS活動」』の実施状況（試行期間を含む3か月間（6月～8月））**

(1) 広報啓発活動の実施結果

注意喚起のメッセージを投稿した件数は、体制強化前の3か月間（3月～5月）と比較して約2.4倍

(2) 書き込み種別と割合

直接的に性的な関係を求める「性交渉」、「対価交渉」は全体の1割弱で、大半は児童に性的な悪影響を与えるような書き込み

(3) 注意喚起後の処置

アカウント保有者が自ら書き込みを削除したのは約2割で、その他は、県警察からSNS運営会社に削除を依頼するなどして対応

**3 今後の方針**

これまでの書き込みの傾向等を踏まえた『香川県警察「SCS活動」』をさらに推進するほか、非行防止教室、研修会、学生ボランティアとの連携等の機会を捉え、子供の性被害防止に向けた教養を行うなど、より総合的な活動に取り組む。

**報告事項**

**民間企業等による社会貢献活動への関心の高まりを背景に、本年は民間企業等と県警察の連携による交通安全活動が増加した。**

**1 本年中の主な連携活動（◎は本年が初めてとなる活動）**

(1) 間接連携（チラシや物品等の提供、寄附等）

ア (一社)日本自動車連盟、(一社)日本自動車販売協会連合会

◎サポカー普及啓発チラシ合計1万8,000部の寄附

イ 明治安田生命保険(株)

◎交通安全チラシ3,000部の寄附、保険外交員による交通安全情報の提供

ウ (一社)日本損害保険協会

○反射材付交通安全チラシ1万5,600部の寄附

エ JA共済

◎交通安全協会を通じた自転車用ヘルメット1,500個の寄附

○「孫の手作戦」に使用する高齢者交通安全グッズ2,800セットの寄附

オ 西日本放送(株)

○視覚障害者誘導用の音響式信号機の寄附（毎年1基：予定）

※ 東京海上日動火災保険(株)、あいおいニッセイ同和損害保険(株)は自社広告に交通安全情報を掲載

(2) 直接連携（主体的な交通キャンペーン、街頭立哨への参加等）

ア JA共済

○スタントマンを用いた交通事故疑似体験（スケアードストレート方式）による交通安全教室の開催（年4回：本年はコロナにより一部中止）

イ (一社)日本自動車連盟、(一社)日本自動車販売協会連合会

○サポカー体験試乗会等の開催（年1回：本年はコロナにより中止）

ウ 第一生命保険(株)

◎営業所職員による交通安全日の街頭立哨（見守り活動）の実施

(3) 情報提供（交通安全情報等の広報啓発）

ア 東京海上日動火災保険(株)、FM香川

◎交通安全ラジオメッセージCM放送（秋の全国交通安全運動期間に放送予定）

イ FM香川

○飲酒運転撲滅メッセージCM放送（毎年11月末～翌年1月末の間に放送予定）

**2 期待される効果**

- (1) 民間企業等の柔軟なアイデアを生かし、親しみやすい交通安全情報等の提供
- (2) 民間企業等の社会貢献活動(CSR)とタイアップした交通安全活動の活性化
- (3) 警察組織の限られた予算、人員を補完し、効率的で効果的な交通安全対策の推進

**3 今後の方向性**

今後、交通安全活動に関心を持つ民間企業等に対し、あらゆる形態での交通安全活動への積極的な参画を呼びかけ、広く官民連携の輪を広げることとしている。